

戦争の脅威と平和の衰退 を免れた生活を考える

ダーリヤ・ザヴィルシェク博士

Darja.zavirsek@fsd.uni-lj.si

リュブリャナ大学

2022年11月12日、日本にて



戦争 がもたらす 亀裂

- 軍国主義と暴力の文化がまん延
- 避難民の数は過去最多：世界中の避難民7950万人のうち、ウクライナからの避難民は760万人を上回る
- 貧困、飢餓、生活空間の破壊、エネルギー供給不足が増大
- トラウマを抱えた人々
- 男女が伝統的な性別で分断され、男性支配がのさばる
- ジェノサイドとエコサイド（環境破壊）が関連して起こる

ソーシャル ワークと戦 争：ソー シャルワー クカリキュ ラムの役割 とは

戦争は、ソーシャルワーカーとサービス利用者／クライアントが共通の現実を体験できる数少ない機会のひとつ
(Ramon 2008)

戦争は避けられない、と人々はまだ考えているのか？

戦時下にある人々は意図的に、特定の民族・宗教グループや国籍に当てはまる特定地域の人びとを破壊し、殺し、絶滅させようとする

意図的な集団暴力行為は、人びとの生命やコミュニティーに重篤なトラウマ反応を引き起こし、計り知れない影響をもたらし、世代間のトラウマをもたらす

ソーシャルワークから見た「破壊のための の工作」

ソーシャルワーク従事者は、環境破壊と戦争は「破壊のための工作」である（Lazzarato 2022）との認識を高め、経済と戦争と環境危機とのつながりを理解することが重要である

平和と環境権を推進するグローバルなソーシャルワークの倫理基準とは根本的に相反する「破壊のための工作」に対し、私たちはいかにして挑むことができるのか

+

●

○

ソーシャルワークから見た戦争の帰結：

-個人

-グループ／集団

-構造レベル


- 人道的危機と人道主義の危機
- 不安感、恐怖、トラウマを引き起こす経験、心的外傷後ストレス障害（PTSD）、身体障がい、失われた命、次世代に引き継がれる苦難
- 終戦で戦争は終わらない
- ナショナリズムとイデオロギー、人間性抹殺の再構成
- 戦中戦後には、戦争前の不平等が深刻化する
- 元々複数の脆弱性を抱えた人々は（障がい者、高齢者、民族的マイノリティ、貧困者）、他の人々よりも暴力を逃れ保護や支援を受けるチャンスが少なく、資源が乏しいときには置き去りにされる

戦時下に生きるウクライナのソーシャルワーク教育者との連帯・支援：2022年2月より

- 緊急のニーズを確認
- 情報を提供・共有
- 寄付集め
- 戦争に関するソーシャルワークの特定のテーマについてワークショップを実施
- 過去および現在の他の戦争の経験から得た知識を提供
- 相互学習
- 現地の人びとの苦難について認識を高める

国を超えたソーシャルワークの連帯：ウクライナのソーシャルワーカー教育者と、IASSWおよびEEsrASSWのメンバーとの間で、22の会合を開催

- 共感と思いやりの場
- 相互学習の場
- パーソナルストーリーを傾聴・共有
- 証言する




連帯のための会合 から

- 「ソーシャルワーカーが辞職した。その多くは自分の家族をケアしなければならない」 (2022年3月)
- 「障がい者は、自らの障害や構造物のバリアのために、避難所まで歩いて行けなかった。避難所は障がい者を考慮して作られてはいなかったから」 (2022年3月)
- 「私の母はこの地に住んでいて、90歳。私はこの国を離れて母をひとり残すことはできない」 (2022年4月)
- 「学生が勉強に戻らないのではないかと心配だ。多くの学生がこの国を離れ、他国で入学手続きをした」 (2022年6月)
- 「都市のエレベーターは戦争が始まって以来動いていない。高齢者は家を出ることができない。大規模アパートにひとり住まいしている高齢者・障がい者のうち、いったい何人が医師や薬にアクセスできているのか分からない」 (2022年9月)

戦争と男性支配は不可分にかみ合っている

戦時下の女性に対する性的暴力は、女性のからだを征服し、女性および男性に屈辱を与え、コミュニティと人間同士のつながりを破壊することを目的とする、ナショナリスト的・男性支配的な対応である

A portrait of a woman with shoulder-length, wavy, light brown hair, wearing a light blue button-down shirt. She is looking slightly to the right of the camera with a neutral expression. The background is a plain, light-colored wall.

2022年10月11日、ロシア：ディナーラ・ガガリーナ博士
(HSEペルミ校) 「平和主義のオンラインメッセージで大
学の評判を落とす」



ЭТО ВОЙНА,
А НЕ "СПЕЦОПЕРАЦИЯ".
НЕТ ВОЙНЕ!
www.change.org/netvojne

2022年10月12日、HSEサンクトペテルブルグ校：Iskender Yasaveev教授（著名な社会学者）：ŠTO VOJNA?, NET VOJNE! / なぜ戦争するのか、戦争反対！



オレクサンドラ・マトイ
チュク
CCL（市民自由センター、
キーウ（ウクライナ））代
表

<https://time.com/6220634/oleksandra-matviichuk-nobel-peace-prize-interview/>

- 「どうしたらウクライナを支援できますか、と問い、われれば、ウクライナに武器を提供してください、と答えます。しかしそれではまだ、安全に住める世界にはほど遠い。人権派弁護士が法的手段を用いてロシアの暴虐から国民を守ることができなければ、それは住むのに非常に危険な世界だ」
(2022年9月30日)

倫理原則に関するグローバルソーシャルワークの声明（**IASSW**、**IFSW**）

原則9.3

ソーシャルワーカーは平和と非暴力を支援する。ソーシャルワーカーは、人道目的で軍関係者と連携し、平和構築と再建に向けて努力する。